施策評価シート(平成25年度実績評価)

◎ 施策の基本情報

総	政策No.	2-2	政策名	生活基盤の充実		生活に必要な基盤が整い、 快適に暮らしています	施策 主管課	都市政策課	施策主管 課長名	石崎 伸也
ĒΤ	施策No. 3		施策名	住宅の安定確保		安心して生活できる住宅を確 保しています	関係課名			
画中期。	現状と課題		市街地	は十分なインフラ整ク	備と良好	E宅が全体の20%あり、老朽化な住環境を備えた地域でありま の建築物について、大規模な地	すが、効	率的な土地利用	月が図られ	

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

- (1)市営住宅の整備・維持管理
- ○修繕による長寿命化
- ·諏訪住宅下水道切替、天下田住宅E棟改修
- (2)街なか居住の推進
- ○高齢化社会に対応した居住への支援
- ・高齢者向け優良賃貸住宅の入居者へ家賃補助
- (3)安全な建築物の整備促進
- ○耐震基準に満たない危険性のある住宅の解消
- ・旧耐震基準の木造住宅の耐震診断費用を補助

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたの か)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市営住宅大規模改修	市営住宅の長寿命化の進捗状況を示す指標	平成22~35年度の14 年間に大規模改修を 計画している252戸を 母数とし、実施した戸 数(累計戸数)の割合 で進捗度合いを測定す る。	% -	目標値				57.1	66.7	73.0
計画に対する進捗率		進捗率=改修済み累 計戸数/計画戸数 (252戸) ※計画の市営住宅は、 天下田住宅及び諏訪 住宅の全棟		実績値	19.0	28.6	47.6			
	震住宅の割合を示す指標 昭和56年以降に建築された住宅は全て耐震基	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	0/	目標値				65.5	66.6	67.7
圧七の順展化学	ら、昭和56年以前に建築		実績値	59.6	60.0	64.4				
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因						
	・市営住宅の改修による長寿命化を計画的に進めている。・旧耐震基準で建築された木造住宅の耐震化の必要性の理解と、防災に対する意識の高まりが図られた。						

4 施策を構成する事務事業一覧

4 //	医策を構成する事務事業一覧			
番号	事務事業名	施策への	貢献度の判断理由	
号	事業内容(実績)	貢献度		
	木造住宅耐震化推進事業	都市政策課	1	災害に強い住まいづくりの意識
1	木造住宅の耐震補強の推進のため、耐震診断費用及び補強工事費に対し	て補助	В	の高まりに貢献しているが、実施 件数は多くない。
	市営住宅環境改善事業	都市政策課		改修工事の実施により良好な住 環境を入居者に提供するととも
2	天下田住宅E棟改修工事、諏訪住宅下水道切替工事		Α	に、施設の長寿命化が図られた。
	居住環境向上支援事業	都市政策課		高齢者の居住の安定確保が図
3	高齢者向け優良賃貸住宅の入居者へ家賃補助		A	5nt.

5	施策を	構成す	る事務	事業の)検証

_		/ UTWTAV M						
((①市民ニーズ	や市の関与の必要性	が低下した事業、	②投入コストのわり	に成果が低い事業、	③施策への貢	献度の低い事	業はない
ሐ	n)							

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・木造住宅の耐震診断を実施しても補強工事に至る例が少ない。
- ・中心市街地再構築事業に合わせた居住環境の整備が必要。
- ・定住促進のための住宅の確保が必要。

(今後の方向性)

- ・木造住宅耐震化に係る補強工事助成事業について、他事業との連携を検討する。
- ・中心市街地への公営住宅建設の検討。
- ・旧教員住宅等の既存ストックの活用も視野に入れた定住促進住宅の確保の検討。